

「ドッコイセこども大会」 和田（福知山商工会議所青年部所属させてもらってます）

おかげさまで事故もなく、大盛況となりましたドッコイセこども大会。今年は当日に台風直撃予報の為に、8月16日に順延し開催！！イベントは楽しいのですが、大変なのが翌日のゴミ拾いです。御霊公園とその周辺を朝5時からゴミ拾いをするのですが、ゴミだらけ…ゴミ箱大量に設置しているのに。来年はゴミがでないような工夫を考える必要がありますね。例えば落ちていたゴミ10個拾えば、かき氷一杯無料とか…。

また、手作りスカイランタンも大成功☆多実験段階では、数個しかあげることができなかったのですが、本番は600個のスカイランタンをあげることができ、とても幻想的でした。次は…『御霊祭り』です。乞うご期待(*´艸`)



今さら聞けない 経済用語

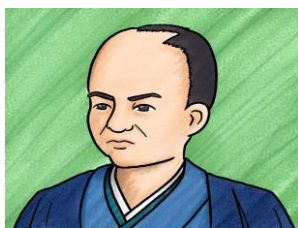
今月の教えてキーワード：【カスタマーハラスメント】

顧客からの悪質なクレームや暴言、土下座の強要など理不尽な要求により従業員が追い詰められること。スーパーや飲食店、介護現場、交通機関、行政機関の窓口、コールセンターなどで被害の声があがっている。従業員が辞職に追い込まれることもあり社会問題として注目が集まる中、2019年6月に開催された国際労働機関（ILO）の総会で条約の議論がなされた。日本政府も企業が取り組むべき指針の策定に動き始めている。

偉大なる日本の100人に学ぶ 人の心を魅了する生き方。

【常識を発達させよ「大村益次郎」】

医師から軍学者に転じて活躍し、後に近代軍制の父といわれた大村益次郎は1825年（1824年とする説もある）、現在の山口県に生まれました。



代々医業と農業を営む家に育った益次郎は幅広い分野の学問を身に付けます。21歳の頃に大阪に出て名門・適塾に入門するとさらにそこから長崎へと足を伸ばして蘭学と医学を修めます。その後、

故郷に戻って医業に従事していた益次郎に大きな転機が訪れます。29歳の頃、蘭学の知識を買われて宇和島藩に召し抱えられたのです。ここから軍学者、兵学者としての道を歩み、後に木戸孝允に認められて長州藩に入りました。時に冷徹ともいわれた合理的な判断で長州藩の兵制改革を推し進めると1866年の第二次長州征伐でも戦略的に兵を操り自軍を勝利に導きます。43歳の頃に迎えた戊辰戦争では新政府の軍防事務局判事として事態の平定に向けて指揮を執ります。益次郎は混乱する江戸の治安を取り戻すため、戦火を最小限にとどめながら旧幕府勢力の彰義隊（しょうぎたい）を制圧したのです。その後、新政府軍が函館を制し戊辰戦争は終了しますが、不平を抱く士族の襲撃を受け1869年に志半ばで生涯を終えました。益次郎は常々「常識を発達させよ。見聞をひろくしなければならぬ。小さな考えでは世に立てん」という言葉を訓戒として語っていたそうです。

今を生きる 先人の言葉

たとえ太陽系と天体の
全てが壊れたとしても、
君が死ぬのは一度きりだ

イギリスの歴史家であるトーマス・カーライルの言葉。例外なく人間は必ず死ぬ。「人生は一度だけ」と本気で思っていれば、まだまだやれることはたくさんある。

トレンドを斬る!

コインランドリーが進化しています。薄暗くて衛生面も不安なかつてのイメージから一転し、カフェの併設や無料Wi-Fiなど

明るく便利な空間に生まれ変わって待ち時間も快適に過ごせます。洗濯機のない独身男性や単身赴任者のみならず、共働きの家庭が大量の洗濯物を一気に片付ける時短目的の積極的な利用も急増中だとか。布団やスニーカーも洗える設備の向上に加え、洗濯代行や宅配など新たなサービスも登場しています。ニーズに根ざした進化に目が離せません。



365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント:【選択が変われば全てが変わる】

私たちは色々な選択をしながら生きています。何時に起きて、何を食べて、どこで、誰と、何をするか。歯を磨くという日課も習慣化された無意識の選択です。そうした選択のひとつひとつがすべて商売の礎(いしずえ)となっていることを、今日は少しだけ真剣に考えてみませんか。例えば、ある家族を想像してください。朝から子どもが大騒ぎ。妻はイライラして夫であるあなたにも八つ当たり。気分良く目が覚めたのに一気にテンションが下がりました。そこであなたは、どんよりした気分を引きずったまま暗い声で「行ってくるよ」と家を出ることもできます。もしくは気分を切り替えて「行ってらっしゃい!」と元気良く子どもを学校に送り出した後に、妻にも「行ってくるよ!」と明るく声をかけることもできます。どんな態度で家族に接してもあなたの自由です。笑ってもいいし、怒ってもいい。やってもいいし、やらなくてもいい。感じ良く振る舞ってもいいし、不機嫌さをまき散らしてもいい。面倒臭いからと後回しにしてもいいし、今やっておくと楽だからと多少無理をしてもいい。相手に反撃



してもいいし、自分が引くことで丸く収めてもいい。人を悪く言ってもいいし、お互いさまだからと許してもいい。自分を貫く「イエス」でも、自分を曲げる「ノー」でも、あなたはどちらも選べます。裏を返せば、あなたの態度はあなたが自分で選んだ結果なのです。人に優しくありたいと思いながら嫌みな態度になってしまうのは、自分で「嫌みな態度」を選んでいるからです。選択は常に4つあります。自分にも周りにも良い選択。自分にも周りにも良くない選択。自分には良くても周りには良くない選択。自分には良くないけれど周りには良い選択。どれを選んででも自由ですが、どの選択が一番良いか、あなたはちゃんと分かっています。楽しく商売したいなら商売が楽しくなる考え方を選びたいものですし、お客さまに喜んでほしいなら「ありがとう!」と言われる態度を選びたいものです。「選択が変われば人生は変わる。人生が変われば商売も変わる」。ひとつひとつ大切に選んでいきたいですね。

トナリの

本棚



【天才を殺す凡人】

「天才・秀才・凡人」それぞれの才能のタイプについて書かれたビジネスコラムが、異例の人気で書籍化されました。三者の間にあるコミュニケーションの断絶とは。自分の才能を生かすにはどうすればいいかを考えながら読みたい一冊です。

船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております☺☺☺☺☺☺